

神経病学

責任者・コーディネーター	神経内科・老年科分野 寺山 靖夫 教授		
担当講座・学科(分野)	神経内科・老年科分野、脳神経外科学講座、小児科学講座		
担当教員	寺山 靖夫 教授、米澤 久司 准教授、工藤 雅子 講師、大庭 英樹 講師、大塚 千久美 講師、金 正門 特任講師、水野 昌宣 助教、大井 清文 非常勤講師、田村 乾一 非常勤講師、佐々木 一裕 非常勤講師、紺野 衆 非常勤講師、三原 正敏 非常勤講師、小笠原 邦昭 教授、久保 慶高 准教授、土肥 守 客員教授、亀井 淳 講師、赤坂 真奈美 助教		
対象学年	3	区分・時間数	講義 36.0 時間
期間	後期		

・学習方針（講義概要等）

神経病学の基本理念：中枢神経、末梢神経疾患および筋疾患の総論、各論を関連各科によって系統立てて講義することを方針とする。

・一般目標（GIO）

神経病学の講義、自主学習を通じて、将来医師として活躍する際に必要な神経疾患の基本的知識を習得し、さらにそれらの知識を臨床で活用できる。実践的総合力を養う。

・到達目標（SBO）

1. 基礎医学の知識の上に乗って、脳、脊髄、末梢神経および筋の正常構造と機能を再確認する。
2. 神経診断学の基本的知識として、神経心理学における高次脳機能、神経生化学における脳脊髄液、神経電気生理学における脳波、SEP、ABRなどの諸検査の方法、重要性を理解する。
3. CT、MRI、脳血管撮影などの神経放射線学的基礎知識を習得した上で、各神経疾患に特徴的な画像所見を学ぶ。
4. 脳血管性疾患、脳脊髄腫瘍、変性疾患、代謝性疾患、感染、中毒、外傷および奇形などの中枢性疾患について、内科学的、外科学的な基本的知識を学び、実践につながる応用力を身につける。
5. 脊髄疾患、末梢神経および筋疾患について内科的あるいは整形外科的基本知識を習得し、臨床に役立てられる学力を身につける。
6. 小児神経学を学び、成人とは異なる小児に特有な神経学的所見、症状を良く理解し、小児神経疾患の基本的知識を習得する。

・ 講義日程

(矢) 西 103 1-C 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/17	水	1	神経内科・ 老年科分野	大塚 千久美 講師	神経生化学-薬理学、髄液 (神経細胞の構造とその情報伝達の 仕組みとシナプスにおける神経伝達 物質の働き。神経の情報伝達に作用 する薬物。脳脊髄液の特徴と臨床で の脳脊髄液検査の役割。)
9/17	水	2	神経内科・ 老年科分野	大井 清文 非常勤講師	神経電気生理学(脳波、筋電図、誘 発電位)
9/24	水	1	神経内科・ 老年科分野	工藤 雅子 講師	神経心理学 (優位半球、劣位半球と大脳皮質局 在。失語、失行、失認と記憶障害の 診察。認知症を来す疾患。)
9/24	水	2	神経内科・ 老年科分野	工藤 雅子 講師	頭痛、てんかん (一次性頭痛と二次性頭痛の鑑別。 一次性頭痛(片頭痛、緊張型頭痛、群 発頭痛)の臨床的特徴。てんかんの疫 学および原因別分類と病型分類)
10/1	水	1	神経内科・ 老年科分野	佐々木 一裕 非常勤講 師	自律神経障害 (自律神経系で神経学的診察に重要 な発汗・関連痛・瞳孔(対光反射)、 血圧調整、膀胱機能について臨床例 も提示しながら概説し、診察所見の 意義を理解できるレベルを目標とす る。各論として Shy-Drager 症候群、 アミロイドニューロパチーの要点を 講義する。)
10/1	水	2	神経内科・ 老年科分野	水野 昌宣 助教	脱髄性疾患-多発性硬化症 (中枢神経の脱髄と軸索変性の違い /多発性硬化症の原因・診断・治療/ 視神経脊髄炎について)
10/8	水	1	神経内科・ 老年科分野	水野 昌宣 助教	末梢神経障害 1 末梢神経の基本解剖、脱髄と軸索変 性、神経伝導検査
10/8	水	2	神経内科・ 老年科分野	三原 正敏 非常勤講師	成人の筋疾患(多発筋炎、重症筋無 力症、チャネロパチーなど)
10/15	水	1	神経内科・	大塚 千久美 講師	錐体外路性疾患 1-大脳基底核の解

			老年科分野		剖・生理 (大脳基底核を構成する神経核の解剖学的な特徴および機能的な分類、大脳基底核を中心とする神経回路(直接路、間接路)の運動制御機構。)
10/15	水	2	神経内科・老年科分野	大塚 千久美 講師	錐体外路性疾患 2-パーキンソン病、ハンチントン病 (錐体外路系の代表的な変性疾患であるパーキンソン病の臨床症状、病態と治療および鑑別疾患。舞踏用運動を呈する代表的疾患であるハンチントン病の病態と臨床症状。)
10/22	水	1	神経内科・老年科分野	米澤 久司 准教授	小脳性疾患 (小脳の発生・解剖・名称/小脳の機能と入出力系/小脳障害における神経徴候/小脳が障害される疾患(脊髄小脳変性症、遺伝性・孤発性、その他))
10/22	水	2	小児科学講座	赤坂 真奈美 助教	小児の筋疾患(筋ジストロフィー、ミオパチー、ミトコンドリア脳筋症)
10/29	水	1	脳神経外科学講座	土肥 守 客員教授	脳血管障害 1(クモ膜下出血をきたす疾患)
10/29	水	2	脳神経外科学講座	小笠原 邦昭 教授	脳血管障害 2(閉塞性脳血管障害)
11/5	水	1	脳神経外科学講座	小笠原 邦昭 教授	脳血管障害 3(閉塞性疾患の外科的治療)
11/5	水	2	脳神経外科学講座	久保 慶高 准教授	脳血管障害 4(脳内出血をきたす疾患)
11/12	水	1	神経内科・老年科分野	寺山 靖夫 教授	脳血管障害 5(疫学・症候学・診断基準)
11/12	水	2	神経内科・老年科分野	田村 乾一 非常勤講師	脳血管障害 6(危険因子・内科的治療)
11/19	水	1	神経内科・老年科分野	水野 昌宣 助教	末梢神経障害 2 各論(遺伝性、自己免疫性、感染性、代謝性、中毒性など)
11/19	水	2	小児科学講座	亀井 淳 講師	小児の神経疾患総論各論 1(けいれん性疾患)
11/26	水	1	小児科学講座	亀井 淳 講師	小児の神経疾患各論 2(脳炎、感染後脳炎)
11/26	水	2	神経内科・	紺野 衆 非常勤講師	神経筋疾患のケーススタディ 1(脳

			老年科分野		血管障害)
12/24	水	1	神経内科・ 老年科分野	金 正門 特任講師	神経筋疾患のケーススタディ 2 (神経筋疾患)
12/24	水	2	神経内科・ 老年科分野	大庭 英樹 講師	神経筋疾患のケーススタディ 3 (変性疾患、遺伝性疾患)

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	ベッドサイドの神経の診かた 改訂 17 版	田崎義昭、斎藤佳雄 著	南山堂	2010
推	臨床のための神経機能解剖学	後藤文男、天野隆弘 著	中外医学社	1992
推	神経内科ハンドブック 第4 版	水野美邦 編	医学書院	2010
推	ニュースタンダード脳神経外 科学 3 版	生塩之敬ほか編	三輪書店	2013
教	標準小児科学 8 版	原寿郎ほか編、内山聖 監修	医学書院	2013
推	整形外科シラバス：自己研修 のための最新知識 全 3 巻	American Academy of Orthopaedic Surgeons 著、廣 谷速人、田中清介 監訳	南江堂	1987
推	医学生・研修医のための神経 内科学	神田隆 著	中外医学社	2008
推	標準脳神経外科 第 13 版	児玉南海雄、佐々木富男 監 修	医学書院	2014
推	Merritt's Neurology 12th edition	Lewis P.Rowland,Timothy A.Pedley	Lippincott Williams&Wilkins	2009

・成績評価方法

出席が規定数を超えた者に対し、試験成績のみで評価する。
前期試験の成績を 100 点満点とし 60 点以上の者を合格とする。

・特記事項・その他

神経心理学	1回
神経生化学	1回
神経電気生理学	1回
自律神経障害	1回
脱髄性疾患	1回
てんかん・頭痛	1回
小脳性疾患	1回
錐体外路性疾患	2回
筋疾患	3回
脳血管障害	7回
小児神経疾患	2回
神経疾患のケーススタディ	3回

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	筋電計	1	実習用
実習	脳波計	1	実習用